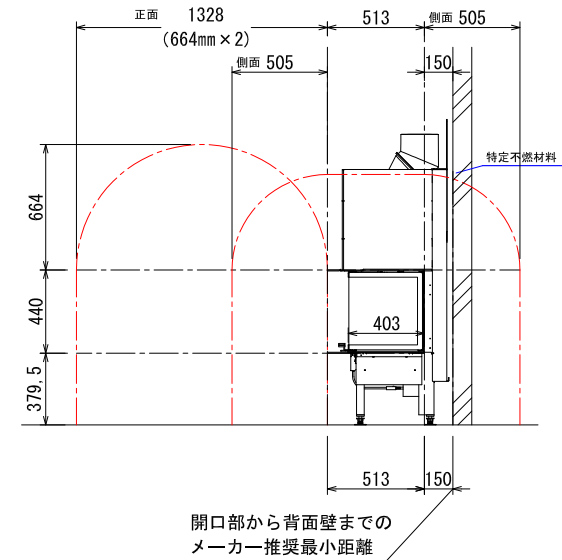
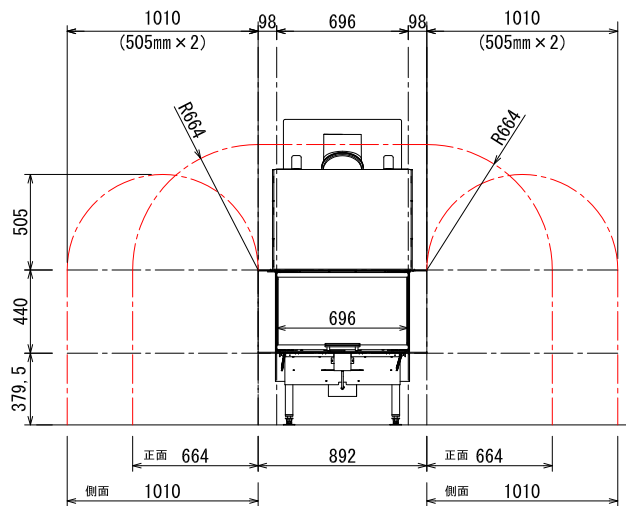
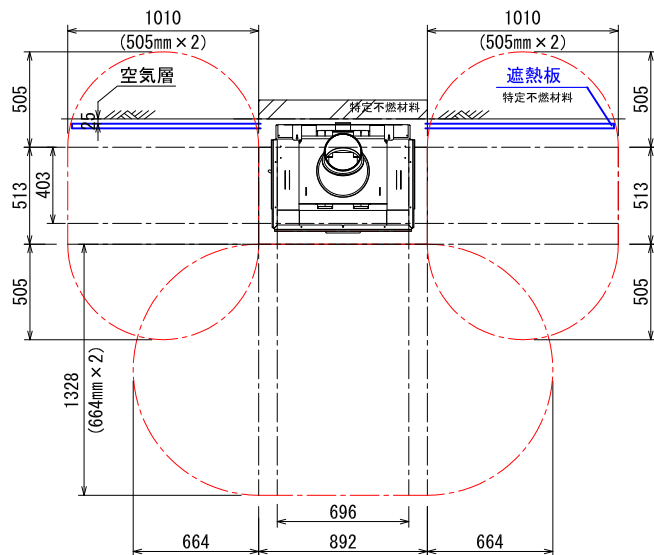


**\*ストーブ等可燃物燃焼部分**

ストーブの輻射熱・対流熱により燃焼する可能性のある範囲を表す。  
 範囲内の下地及び仕上げは、特定不燃材料で仕上げること。  
 範囲外の下地及び仕上げは、難燃材料で仕上げること。



RS124:RAISVISIO 内装制限告示内容に基づくストーブ遮熱寸法と離隔距離一覧

Av 1	Av 2	Ls 1	Ls 2		
306, 240mm <sup>2</sup>	177, 320mm <sup>2</sup>	664mm	505mm		

Av=暖炉開口部面積 Ls=暖炉可燃物燃焼基準距離

図 面 名	RAIS VISI03 内装制限告示内容に 基づく設置図面
縮 尺	1/40
ダッチウエストジャパン株式会社	

## 内装制限告示内容に基づくストーブ遮熱壁寸法と離隔距離計算表

機種 RS-124 : RAISVISIO



最大熱出力/時間 7,700 Kcal/h

9.0 Kw

最大熱出力/ 秒	2.14 Kcal/s
----------	-------------

**Av1 : 暖炉開口部面積**

$$\mathbf{Av1} \text{ (開口部面積)} = 696 \times 440 = 306,240 \text{ mm}^2$$

**Av2 : 暖炉開口部面積**

$$\mathbf{Av2} \text{ (開口部面積)} = 403 \times 440 = 177,320 \text{ mm}^2$$

※壁付暖炉の条件として、W=1000mm以内H=750mm以内とする

**Ls : 暖炉可燃物燃焼基準距離**

$$\mathbf{Ls1} \text{ (開口部)} = 1.2 \times \sqrt{Av(\text{開口部面積})} \cong 664 \text{ mm}$$

(暖炉開口部がガラス等によって適切に覆われている場合)

$$\mathbf{Ls1} \text{ (開口部)} = 1.2 \times \sqrt{Av(\text{開口部面積})} \cong 505 \text{ mm}$$

(暖炉開口部がガラス等によって適切に覆われている場合)

発熱量、15,480kcal/s 以下のストーブ
--------------------------